

京都大学（北部）総合研究棟改修（農学部総合館）
施設整備等事業

要求水準書

【別表2】（12/20訂正版）

（赤字部分訂正箇所）

※ A～Rの分類で該当するものだけ掲載

各エリア特殊条件

平成16年12月20日

京都大学

【別表 2】 (E)

フィールドロボティクス		農業システム工学	農産加工学	施設機能工学
水環境工学	農業システム工学	水資源利用工学	専攻共通	地域環境科学共通
農産加工学	微生物環境制御学	比較農業論	農村計画学	森林生態学
森林生化学	森林生態学	森林水文学	土壌学	生態情報解析学
熱帯農業生態学				

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
E001 生物測定分析室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の物性又は、化学成分の測定分析を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置(h2000,W1600)
E002 農業システム工学研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物成長実験ならびにバイオマス・エネルギーに関する基礎実験。 ・親子扉 1ヶ所設置
E003 電顕室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物果肉細胞を電子顕微鏡によって観察する。 ・E004への連結通路を設置(片開き 1ヶ所) ・両開扉:1ヶ所設置
E004 低温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物資料の貯蔵及び貯蔵実験。 ・E003への連結通路を設置(片開き 1ヶ所) ・両開扉 :1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・前室と低温室の壁には断熱扉を設置 ・低温室内は農産物の呼吸活動により炭酸ガスが充満し、作業者が窒息する恐れがあるため換気を行う。 ・低温室の内部サイズは3300×4000×H2500(内寸)を確保すること
E005 恒温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤材料の物性計測 ・特殊配管:実験のため、外部からエアコンプレッサから配管のためのスリーブが必要。 ・扉:W=1.5×H=2.0×1ヶ所:エアータイト仕様(親子開き) ・計測時の温度膨張、含水比変化の影響を除くため、温度・湿度条件は下記の値を目標とする。 (温度:20°C±2°C 湿度:50°C±10%)
E006 構造実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤挙動、材料挙動の解明のための構造模型実験を行う部屋。 ・水を利用する実験のため、屋上コンクリートたたきに、水栓設置(20A1個) ・特殊配管:大型電気機器のための配電盤。 ・特殊配管:E005室屋外からの空気圧導入のためのスリーブ必要 ・扉:W=3.0×H=2.0×2ヶ所及び、片開扉:1ヶ所設置 ・1tクレーン及び走行レールを設置する

エリア(室名)	特殊条件
E007 材料実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土木材料の特性を試験する ・水を利用する実験のため、屋外コンクリートたたきに水栓設置(20A1個) ・特殊配管:大型電気機器のための配電盤 ・扉:W=2.0×H=2.0×2ヶ所及び、片開扉:1ヶ所設置 ・1tクレーン及び走行レールを設置する
E008 土壌物理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・軟X線非破壊検査装置による土壌物理構造の撮影 ・土壌の水分特製・物質移動特製等の土壌物理・化学・生物に関する試験の実施のため恒温条件が必要 ・ステンレス流し台:実験器具に付着した土壌を洗い流す ・実験排水:土壌流出水 ・親子扉:1ヶ所 ・流しの蛇口の数は2ヶ所
E009 倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・森林科学専攻共通倉庫として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・除湿器(備品)用のドレン配管を設置する
E010 倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能工学の物品倉庫として使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・除湿器(備品)用のドレン配管を設置する
E011 生物生産工学地下実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物生産機械の実験を行う ・両開扉:1ヶ所設置 ・排水溝設置
E012 生物生産工学地下実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物試料の貯蔵及び加工実験を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置 ・E013と部屋は繋がっている。

エリア(室名)	特殊条件
E013 生物生産工学地下実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物試料の貯蔵及び加工実験を行う。 ・両開扉:1ヶ所設置 ・E012と部屋は繋がっている。
E014 実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・水質分析に使用する。 ・両開き扉 1ヶ所設置
E015 第一共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・客員、教員、産学官連携研究員、ポスドク研究員等の研究室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置
E016 REIPS画像処理室	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークステーションシステムにより各種画像処理を行う。 ・片開扉:1ヶ所設置
E017 土壌物理学学生実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌物理学、水環境工学実験を行う。 ・30～40人程度の学生実験を行う。 ・土壌物理実験ではある程度の恒温状態が必要な場合が多い。 ・親子扉:1ヶ所設置
E101 電子顕微鏡室	<ul style="list-style-type: none"> ・農学研究科共通の電子顕微鏡室として、凍結試料作製装置、凍結超薄切片作製装置、透過型電子顕微鏡を設置し、様々な試料の超微細構造観察を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・電子顕微鏡使用中を示す赤色灯を廊下側入口に設ける ・装置冷却用の冷却水循環装置を設置

エリア(室名)	特殊条件
E102 院生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 ・片開き扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 1ヶ所設置 ・パーテーションの仕様は、設置型タイプとする。
E103 ワークステーション室	<ul style="list-style-type: none"> ・計算機室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 2ヶ所設置 ・OAフロアの段差は、室内側に設ける。
E104 学生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生演習室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 ・隣室との間に片開き 1ヶ所設置
E105 大学院生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生室として使用する。 ・片開扉 1ヶ所設置
E106 学生演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の演習室として利用。 ・片開扉 1ヶ所設置
E107 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・助手室として使用する。 ・片開扉 1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E108 講義室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業・ゼミ等に利用する。(白板、スクリーン、OA機器、キャビネット、机、椅子、教壇等は一般に準じる) ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置 ・洗面化粧台水栓は ゲースネック形状とする。
E109 講義室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の授業・ゼミ等に利用する。(白板、スクリーン、OA機器、キャビネット、机、椅子、教壇等は一般に準じる) ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 2ヶ所設置 ・洗面化粧台水栓は ゲースネック形状とする。
E110 セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ室として利用する。 ・親子扉 2ヶ所設置
E111 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E112 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E113 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E114 研究室(2)	・標準プランとする
E115 研究室(1)	・標準プランとする
E116 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・資料室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所設置
E117 研究室(2)	・標準プランとする
E118 研究室(3)	・標準プランとする
E119 研究室(4)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E120 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の会議並びに学生の授業、ゼミに使用する。 ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置
E121 地域環境科学専攻コピー室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境科学専攻の事務室及び、分野共通のコピー室、専攻事務室の書類の保管庫置き場としても使用する。 ・出入口:片開戸 2ヶ所(うち1ヶ所は地域環境科学専攻事務室間)
E122 地域環境科学専攻事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境科学専攻の事務をつかさどる。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所(E121コピー室間) ・白板を壁に設置。
E123 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻関係の会議及び学生のゼミ等に使用する。 ・出入口:片開扉 1ヶ所
E124 学生控室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境工学科3回生控室として使用する。 ・出入口:親子扉 1ヶ所 ・水栓はゲースネック仕様とする。 ・洗面台:・水栓はゲースネック形状とする。
E125 生物環境実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験を行う。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所 ・ブンゼンバーナー8個を使用する。

エリア(室名)	特殊条件
E201 計算機室	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータールームとして利用する。 ・出入口:親子扉 1ヶ所、片開扉 1ヶ所(E202室間) ・壁面(天井より350程度下部)に長押材取付(W=100) ・流し台は、画像処理用農産物試料の洗浄。
E202 学生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の居室 兼 一般実験室として利用する。 ・東西壁面上部(天井から350mm程度下の位置)に長押様の板材(100mm幅)を設ける。 ・両開扉:1ヶ所、片開き扉:2ヶ所
E203 学生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学部生、院生研究室として利用する。 ・片開き扉:1ヶ所
E204 研究実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の準備、実験、及び実験機材の保管に使用する。 ・棧木取付(L=6.0 H=2.2 本棚固定用) ・両開き扉:1ヶ所
E205 学生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、4回生の研究室。研究室所有雑誌の書庫 ・洗面台:水栓はグースネック仕様 ・出入口:親子扉 1ヶ所 片開扉 1ヶ所 ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。 ・洗面台:水栓はグースネック形状とする。
E206 学生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室と書庫として利用する。 ・棧木取付(L=6m,H=2.2m 2ヶ所 本棚固定用) ・出入口:片開戸 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E207 学生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、4回生の研究室 ・親子扉2ヶ所設置 ・洗面台:水栓はグースネックを使用する。 ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。 ・洗面台:水栓はグースネック形状とする。
E208 微生物・植物培養室	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に制御された生物環境調整装置の中で、生育条件の異なる各種微生物や植物の培養・制御実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
E209 微生物分子レベル実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物やその寄主植物を用いた分子生物学的な実験を行う ・扉:親子開扉:2ヶ所設置 ・床:防水処理。
E210 微生物生理生態レベル実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に制御された生物環境調整装置の中で、生育条件の異なる各種微生物や植物の培養・制御実験を行う ・親子開扉:1ヶ所設置
E211 野外試料処理室	<ul style="list-style-type: none"> ・野外から採取した土壌、植物などの材料から微生物を分離、培養し、実験に用いるためのト処理、野外試料の乾燥、裁断等の処理を行う
E212 分野事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・分野の事務室、談話室として利用する。 ・ステンレス製流し台 ・出入口:片開扉2ヶ所 ・長押板材(W=100) L=4000 2ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E213 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E214 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E215 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官、院生研究室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・長押板材(W=100)2ヶ所
E216 分野事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・事務室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・床:耐荷重1200kg/m²
E217 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所
E218 教員研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助手室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E219 助教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・助教授室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所
E221 分野事務室・教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官室として利用する。 ・片開扉 2ヶ所 ・洗面台:水栓はグースネック仕様とする。
E222 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・農業システム工学分野教授室 ・片開扉 2ヶ所
E223 教官室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする ・教官室として利用する。 ・片開扉 1ヶ所 ・洗面台:水栓はグースネック仕様とする。
E224 客員教授室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E225 客員教授室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E226 客員教授室(3)	・標準プランとする
E227 客員教授室(4)	・標準プランとする
E228 コンピューター援用物理系演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共用のコンピュータ演習室として利用する。 ・扉: H2.0×W1600以上 両開き: 1ヶ所 ・天吊プロジェクター(電動スクリーン含) ・東側窓: 遮光・黒板設置のため塞ぐ ・南側に窓を設ける
E229 微生物観察室	・各種顕微鏡を用いて微生物と植物の相互関係などを観察、撮影、記録する
E230 教授室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の居室と研究室として利用する。 ・親子扉 1ヶ所
E231 共同利用室 (事務室兼院生研究室)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生の居室、研究室として利用すると同時に事務室として使用する。 ・両開き扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E301 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 書籍を保管する。 ・親子開扉 1ヶ所 ・パーティションの仕様は置き型タイプとする
E302 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する。 書籍を保管する。 ・親子開扉 1ヶ所 ・パーティションの仕様は置き型タイプとする
E303 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E304 計算機室	<ul style="list-style-type: none"> ・計算機室として利用する ・片開扉2ヶ所設置
E305 演習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学生演習室として利用する ・親子開扉 1ヶ所
E306 資料室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・資料等の保管として利用する ・親子開扉 1ヶ所

エリア(室名)	特殊条件
E307 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・水・土壌試料の化学分析に利用する ・扉:親子扉 1ヶ所 ・原子吸光光度計上部に排気フードを設ける。その排気は同室のドラフトチャンバー排気系統へ接続する。
E308 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として使用する。 ・親子扉 1ヶ所
E309 微生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物に関する実験、分析を行う。 ・親子扉 1ヶ所
E310 生物実験準備室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物実験のための材料や試料の保管に使用する。 ・片開扉 1ヶ所
E311 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E312 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E313 研究室(1)	・標準プランとする
E314 資料室	・測量器具、書籍などを保管する。書籍を閲覧する。 ・扉:片開扉 1ヶ所
E315 研究室(1)	・標準プランとする
E316 研究室(2)	・標準プランとする
E317 研究室(3)	・標準プランとする
E318 研究室(4)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E319 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所
E320 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所設置 片開扉 1ヶ所設置
E321 院生研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・院生研究室として利用する ・親子扉 1ヶ所
E322 外国人共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E322-2 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E323-1 第二共同研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・客員、教員、産学官連携研究員、ポスドク研究員の研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E324 研究室(4)	・標準プランとする
E325 研究室(5)	・標準プランとする
E326 研究室(2)	・院生研究室として使用する。 ・親子扉:1ヶ所設置
E327 研究室(3)	・教官(助手)研究室及び事務室に使用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉 1ヶ所設置
E401 -1 培養・低温実験室	・木質系植物細胞、微生物の培養を行うとともに、食材性昆虫・動物の飼育を行う。又、酸素精製。低温抽出などの低温実験を行う。 ・暗室の間仕切りはスチール製パーティションを用いて囲う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・E403への連絡通路を設ける。
E401 -2 暗室	・木質系植物細胞・微生物の光に対する反応実験及び写真の現像を行う。 ・片開き扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E402 -1 生化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・木質系植物細胞、微生物、食材性生物の生化学実験を行う。 ・床:防水処理、耐薬品性ラミネート一面張り。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:2ヶ所設置。 ・E401とE402-2への連絡通路を設ける。 ・E402-2との間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E402 -2 森林生化学院生室	<ul style="list-style-type: none"> ・森林生化学分野の大学院生の居室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置
E403 -1 生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に関する実験、分析を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置
E403 -2 生物実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に関する実験、分析及びICP分析を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・ICP装置上部に排気フードを設ける。その排気はE403-1ドラフトチャンバー排気系統へ接続する。
E404 森林水文学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・気象計測機器、CO2濃度計などの検定、製作、室内実験等に利用する。 ・植物の光合成、蒸散能に関する実験及び分析を行う際に、高度空調設備を要する。 ・大空間のため部屋を間仕切り、50%を高度空調、50%を一般空調とする。 ・両開き扉:2ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・LAN設備が必要 ・N405との間に連絡通路あり(W=0.85) ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E405 森林水文学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・水、ガス試料の化学分析に利用する。 ・E404との間に連絡通路が有り。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉*1ヶ所設置 ・乾燥棚の下に床用シンク

エリア(室名)	特殊条件
E406 化学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・化学分析、化学合成、土壌分析等に利用する。 ・実験台1台あたりバーナー4ヶ所必要。 ・親子扉:2ヶ所設置 ・E407への連絡通路あり ・E407との間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E407 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー室及び院生研究室として利用する。 ・片開き扉:1ヶ所設置 ・E406への連絡通路を設置。
E408 森林水文学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・観測用機器の調整、野外測定器具や取り付け器具の製作や機器の保管に利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・狭い部屋なので、出来るだけ窓を広くとる。
E409 分子生物学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・木質系植物、微生物、食材性生物の分子生物学的実験を行う。 ・親子扉:2ヶ所設置
E410 助教授講師室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E411 研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E412 教授室	<ul style="list-style-type: none"> 標準プランとする
E413-1 分析・解析室	<ul style="list-style-type: none"> GC-MS、GC、HPLC、プロテインシーケンサ、イオンクロマトなどにより、試料の分析及び解析などを行う。 親子扉: 1ヶ所設置。
E414 水文データ解析室(E413-2も含む)	<ul style="list-style-type: none"> 水文、気象データの解析、院生の研究に利用する。 リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする) 親子扉: 1ヶ所設置、片開扉: 1ヶ所設置 間仕切壁はスチールパーテーションとする。 空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。
E415 教授室	<ul style="list-style-type: none"> 教授室として利用する。 片開扉: 1ヶ所設置
E416 研究打ち合せ室	<ul style="list-style-type: none"> 教員、院生の研究打ち合わせ、事務担当者の執務、コピー、FAX等に利用する。 片開扉: 3ヶ所設置 E415とE417への連絡通路あり
E417 教員・院生研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> 教官、院生の研究室として利用する。 親子扉: 1ヶ所設置、片開扉: 2ヶ所設置 リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする)。 E416への連絡通路あり スチールパーテーションで仕切を設ける 空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。

エリア(室名)	特殊条件
E418 教員・院生研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生の研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・リモコンは2個(温度をパーテーションの左右で別々に操作可能とする) ・スチールパーテーションで仕切を設ける ・空調・換気設備は、部屋の東西部分で別々に運転可能とする。
E419 化学実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。
E420 研究実験室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験に利用する。 ・NCアナライザー、液体クロマトグラフィなどを一定温度で必要があるため、24時間25℃に保つ必要がある。 ・扉:W=1.25×H=2.0×1ヶ所(親子開き) ・床:防水処理 (床防水仕様削除)
E421 研究実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・X線装置などを用いた土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・ステンレス流し台 } : X線装置等冷却のため。 ・コンクリート製シンク (各1台) ・扉:W=1.25、H=2.0×1台(親子開き) ・床:防水処理・床:防水処理 (床防水仕様削除) ・年間、24時間25℃空調
E501 研究室(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・野外より採取したサンプルの処理、コンピュータによるデータ解析を行うと共に、院生研究室として利用する
E502 生態恒温実験室(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する生態恒温実験室(B)(C)(D)で飼育・栽培するハダニ類およびその餌植物と天敵類を持ち込んで、実験顕微鏡(コールドライト使用)下で行動観察と操作実験を行う ・片開扉:1ヶ所設置 親子扉:1ヶ所設置

エリア(室名)	特殊条件
E502 生態恒温実験室(B)(C)(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハダニ類を餌植物の栽培、ハダニおよび天敵類の飼育を行い、それらを用いて制御環境下での行動観察と操作実験を行う ・生態恒温実験室(A)に隣接するE502の区画を3つの小部屋に分割し、高度空調と人工照明(蛍光灯)によって飼育環境を独立に制御する ・日長を制御するため生態恒温実験室(B)は無窓とする ・片開扉:各々1ヶ所設置 ・各々の恒温室は独立に運転が出来るものとし、温度も可変で設定できるものとする。
E503-1 分子生態解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・分子生物学実験および遺伝子組換え実験(P2)に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置 ・E503-1とE503-2は、パーテーションにより仕切る
E503-2 分子生態解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・分子生物学実験および生化学実験等に使用する ・親子開扉:1ヶ所設置 ・隣室への連絡用に片開扉:1ヶ所設置
E505 植物計測実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の生長計測に関する実験を行う
E506 植物生理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラフトチャンバー:W=1.5×1台。 ・陶器製流し台:実験器具洗浄、手洗い。 ・実験装置用給排水:オートマチル、高圧滅菌釜。 ・ガス設備:実験用コンロのため。 ・給湯設備:実験器具洗浄。 ・扉:W=1.25×H=1.8×1ヶ所(親子開き)、W=0.85×H=1.8×2ヶ所(片開き)
E507 環境ストレス生理実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の環境ストレス生理に関する実験を行う

エリア(室名)	特殊条件
E508 低温実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス流し台:手洗い。 ・実験装置用給排水:1cp装置。 ・ガス設備:要。 ・給湯設備:要。 ・扉:W=1.6×H=2.0×1ヶ所、W=1.4×H=2.0×1ヶ所 ・床:耐水処理
E509-1 化学実験室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開き扉:1ヶ所設置 ・間仕切壁はスチールパーテーションとする。 ・E509-2への連絡通路あり。
E509-2 化学実験室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の各種分析ならびに実験を行う。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・E509-1への連絡通路あり。
E510 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E511 研究室(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによるデータ解析、図書の保管を行うとともに、助手及び院生の研究室として利用する
E512 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E513 研究室(3)	・標準プランとする
E514 研究室(4)	・標準プランとする
E515 生態機能解析室	・捕食性節足動物を飼育し、それを用いた行動生態学的実験を行う
E516 研究室(1)	・標準プランとする
E517 研究室(2)	・標準プランとする
E518 研究室(3)	・標準プランとする

エリア(室名)	特殊条件
E519 データ解析室	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、電子計算機によるデータ解析を行う ・片開扉:1ヶ所設置
E528 /529 研究室(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・パーテーションはスチールパーテーションとする。
E530 -1 研究室(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準プランとする
E530 -2 研究室(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・教官、院生研究室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置、片開扉:1ヶ所設置 ・E5301-1への連絡通路あり。

【別表 2】 (1)

附属農場

【別表2】各エリアの特殊条件

エリア(室名)	特殊条件
1001 植物生産管理学地階居室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の居室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置。
1001-2 技官室	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室ならびに休憩室として利用する。 ・親子扉:1ヶ所設置 ・シャワー室はプロット図では3ブースあるが、間取上2ブースに減少しても良い ・各居室の仕切はスチールパーテーションとする。 ・給湯は集中管理式とする。 ・床はリノリウム、天井は袋とする。 ・洗濯機パン1台を設ける
1003 1004 農具舎	<ul style="list-style-type: none"> ・農機具格納、整備、点検 ・片開扉:1ヶ所設置、3枚引戸:1ヶ所設置、 ・シャッター(電動)2170×3000以上確保:1ヶ所設置 ・クレーン(2t)チェーンブロック(揚程:2.5m、)を設置する ・排水箇所に泥溜めマスが必要。 ・換気扇は排ガス対応を考慮すること(農具舎、保存庫共必要) ・トラクター・コンバインを格納する ・技官室との内線の回線を希望
1005 作業室	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵種子の採種、調整作業および機器分析に使用する。 ・両開扉:2ヶ所設置(w1800)、片開き扉:1ヶ所設置 ・機器の発熱量を考慮すること ・粉碎機より粉塵が発生するため、粉塵機周辺の雰囲気を外部(中庭)に排出する排気設備を設置する
1006 種苗室(A) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 種苗庫(B)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間に渡って植物遺伝資源を安定に保存するため、低温(10℃)、低湿度(相対湿度30%)の種苗庫を設置する。 ・両開扉:2ヶ所設置(W1800) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗庫には種苗庫本体と貯蔵種子の調整、小分け作業のための準備室を併設する。 ・種苗庫内は低温・低湿の特殊空調 ・準備室は空調換気扇とする。 ・種苗庫内に閉じこめられる事故防止のため、脱出用ハッチ及び、外部連絡用のインターホンの設置 ・扉:片開き:1ヶ所設置。(W1.25,H2.0)※断熱材入り扉とする ・床:断熱材入り、二重構造。 ・壁:断熱材入り。

エリア(室名)	特殊条件
I006C 機械室	<ul style="list-style-type: none"> ・親子扉: 1ヶ所設置 (W1.25,H2.0)
I201 植物生産管理学実験室	<ul style="list-style-type: none"> ・植物材料、土壌の化学分析に利用する。 ・親子扉: 1ヶ所設置、片開き扉: 1ヶ所設置 ・粉碎機より粉塵が発生するため、粉塵機周辺の雰囲気を外部(中庭)に排出する排気設備を設置する
I202 植物生産管理学教官居室	<ul style="list-style-type: none"> ・教官の居室として利用。 ・親子扉: 1ヶ所設置